

映像通報システム（Live119）の運用開始について ～災害現場と消防を映像でつなぐシステム～

千葉市の119番通報は千葉県北東部・南部地域の20消防本部で共同運用をしているちば消防共同指令センター（中央区長洲1-2-1）で受け付けています。

このたび、ちば消防共同指令センターでは、災害現場の状況をスマートフォンから映像で伝えることができる「映像通報システム（Live119）」の運用を開始しますので、お知らせします。

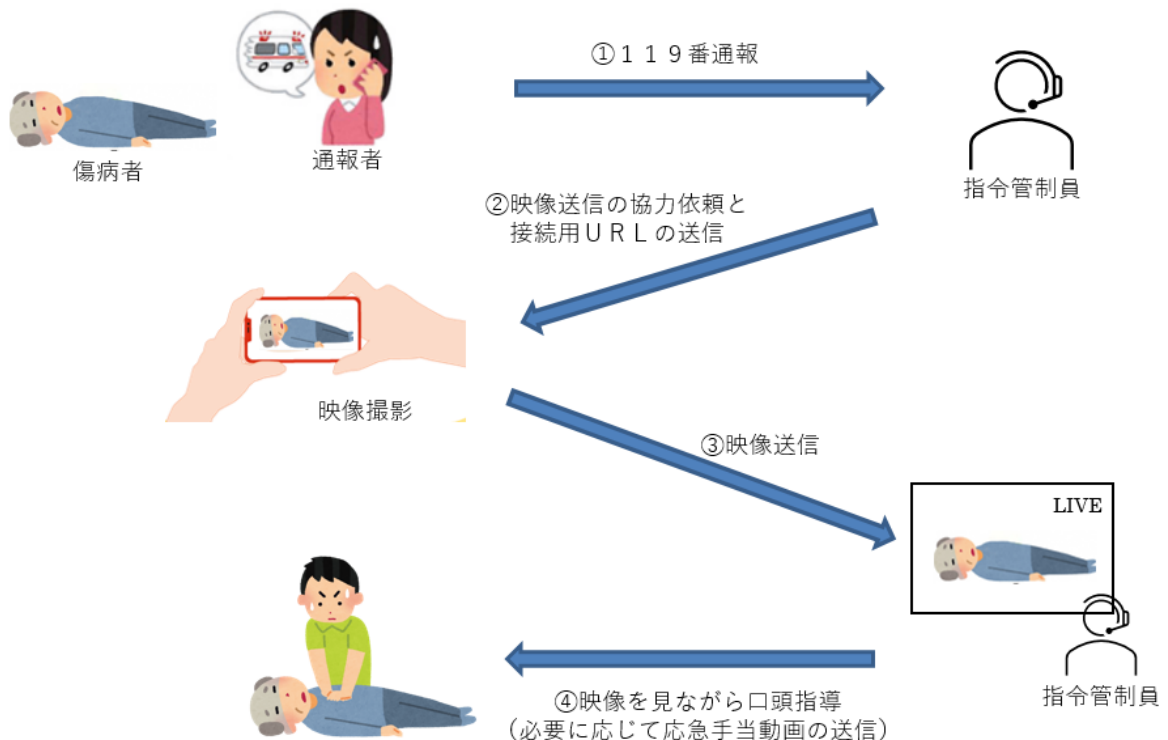
1 概要

映像通報システム（Live119）は、通報者と指令管制員で映像の送受信を行うことで、傷病者の状態や災害現場の詳しい状況を把握できるシステムです。

音声による119番通報に加え、映像によるコミュニケーションにより、迅速・的確な消防活動やより効果的な応急手当を行うことで救命率を向上させることが期待できます。

スマートフォンからの通報で、指令管制員が必要と判断したときに通報者への映像送信の協力を依頼します。

【映像通報システム（Live119）のイメージ】



2 運用開始日時

令和6年5月1日（水）8：30

3 活用の効果

- (1) 通報者が音声で伝えることが難しい災害現場の状況を映像で伝えることができる。
- (2) 通報者が地理に不案内な場合でも、映像を用いることにより出動場所を早期に特定することができる。
- (3) 指令管制員が送られてきた映像を見ながら応急手当の指導をすることができる。
- (4) 指令管制員から応急手当のやり方が分かる動画を通報者に送信することができる。